

失敗からも学ぶところがある

校長 吉田 美佳

若葉がみずみずしい季節となりました。また、毎朝の登校指導中、様々な鳥のさえずりが聞こえてくる中には、ウグイスもいます。春の初めは、とぎれとぎれの鳴き声でしたが、次第に鳴き方が上手になり、今ではきれいに響いています。若いウグイスは、毎日練習して上達するんだと、ほほえましくなります。

中央林間小学校でも、一年生が新生活に少しずつ慣れてきました。4月21日より給食がスタートし、配膳や片付けの際には担任だけでなく、専科の教員や図書館司書、寺子屋コーディネーターなど担任外の教職員が総出で手伝っていました。今では5年生の児童が手伝いに来てくれて、少しずつ自分たちで準備や片付けができるようになっていきます。そのあとの掃除の時間は、6年生がやり方を教えながら一緒に掃除をしてくれています。こうして1年生はたくさんの優しさの中で、初めての小学校生活のいろはを覚え、慣れ、成長していきます。

去る4月19日、NASAの火星探査車に搭載された小型ヘリコプターが、火星でのテスト飛行に成功した、というニュースが話題になりました。地球以外の惑星で航空機が飛ぶのは初めてで、将来の探査に応用されることが期待されているそうです。ヘリコプターが宙に浮かぶ映像とその成功を見ていた科学者らの歓声は、テレビやネットのニュースで公開されました。その動画の中でとりわけ印象的だったのは、ヘリコプターが離陸した瞬間に、ある女性が手に持っていた書類を2つに破いた姿です。その書類は「失敗したとき用の発表原稿」でしたが、原稿は4種類準備していたそうです。成功したときの原稿・部分的に失敗したときの原稿・情報不足による失敗時の原稿・失敗したときの原稿。彼女は失敗したときの原稿を破きましたが、「いずれ(の場合で)も学ぶところがある。」とっています。

私たち教職員は、子どもたちに成功体験を積み重ねることで自信を持たせ、次のチャレンジの意欲につなげたいと考えています。そのため、学級担任を中心に様々な役割の職員が手を携え、子どもたちの指導・支援を行っています。それでも、学校生活において子どもたちは初めて取り組むことも多く、時には失敗することもあるでしょう。子どもたちにとって、その失敗にも“学ぶところがある”という考え方に、動画の女性の言葉から改めて気づかされました。まだまだ成長途中の子どもたち。私たち大人はあきらめずに手本を示し、根気強く導いていく責任があると思います。子どもたちには、失敗してもくじけず、いろいろなことにチャレンジしてほしいと願っています。この一年間、家庭・地域・学校が手を取り合って、一步一步成長していく子どもたちを温かく見守り、励ましていただけますようよろしくお願いします。

